

*****制限事項通知統合版*****
 *
 * 本文書は、NECマイクロコンピュータ技術文書閲覧サービスの開始にあたり、*
 * 既に通知させて戴いておりました制限事項を1つの文書にまとめたものです。*
 * 2002年6月17日時点のすべての制限事項が掲載されています。*
 *

NEC マイクロコンピュータ技術情報

78K0S シリーズ統合ディバツガ ID78K0S-NS 使用制限事項の件	発行番号	SBG-TT- 0135号	1/1
	発行日	平成 14年 6月 17日	
	発行元	日本電気株式会社 NECエレクトロニクス システム LSI ソリューション技術本部 マイクロコンピュータグループ	
関連資料	・ID78K シリーズ 統合ディバツガ V2.30 以上 操作編 (資料番号 U15185JJ1V0UM00) ・ID78K0S-NS 統合ディバツガ V2.30 使用上の留意点 (資料番号 SBG-TT-0035)	文書分類	① 使用制限事項 2 バージョン・アップ 3 ドキュメント修正 4 その他

CP(K),O

1. 対象製品

ID78K0S-NS V2.30

2. 制限事項一覧

制限事項の履歴とその詳細情報が含まれました制限事項一覧を別紙1に記載します。

以上

ID78K0S-NS の制限事項一覧

1 . 製品履歴

No	仕様変更・追加 / 不具合事項	該当バージョン	
		V2.20	V2.30
		× : 該当する : 該当しない - : 対象外	
1	イベント・ダイアログで、マスク値を設定できない不具合。	×	
2	シンボル変換ダイアログで、正しくないエラーを出力する不具合。	×	×
3	ソース指定ダイアログで、エラーが表示されない不具合。	×	
4	トレースサーチ機能の不具合。	×	
5	逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレスを表示しない不具合。	×	×
6	オプションメニューの[カバレッジ]が有効になったままの不具合。	×	
7	ウォッチ・ウィンドウでポインタのメンバー表示ができない不具合。	×	×
8	ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合の不具合。	×	×
9	800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できない不具合。	×	
10	メモリ比較結果ダイアログで、リターン・キーで動作しない不具合。	×	
11	トレース・ダイアログでの、Add Linkボタンの不具合。	×	
12	プログラム実行中のエラーメッセージが正しくない不具合。	×	
13	メモリ比較ダイアログで違反領域を指定した場合の不具合。	×	
14	プロジェクト・ファイルの読み込みでエラーを出力しない不具合。	×	
15	I/Oプロテクト設定しても、エラー・メッセージを表示しない不具合。	×	
16	ダウンロードダイアログで、オブジェクトもロードしてしまう不具合。	×	
17	文字列の表示が途中で切れてしまう不具合。	×	×
18	ソフトウェア・ブレークが使用できなくなる不具合。	×	
19	ソース・ウィンドウに表示されない不具合。	×	
20	シンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できない不具合。	×	×
21	ポインタ変数の値が、変数ウィンドウで正しく表示できない不具合。	×	
22	ロードモジュールをもう一度ダウンロードすると、エラーになる不具合。	×	
23	左右矢印キーでスクロール操作すると、表示が乱れる不具合。	×	×
24	ソースファイル名に“-” “+”を含む場合、ブレークポイントが設定できない不具合。	×	×
25	ディバッガが異常終了する不具合。	-	×
26	カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されない不具合。	×	×
27	ソースウィンドウにソース内容が表示されない不具合。	×	
28	ソースサーチ・ダイアログのサーチファイル機能の不具合。	×	×
29	関数の引数が配列のとき、Watch, Local での表示が不正になる不具合。	×	×
30	スナップ・ショット・イベントのあるトレースが全トレースになる不具合。	×	×
31	ソース・テキスト・ウィンドウ混合表示時に編集ができない不具合。	×	×
32	ソース・テキスト・ウィンドウで同名ファイルが表示できない不具合。	×	×
33	SFR 領域が疑似 RRM できない不具合。	×	×
34	メモリ検索が中断する不具合。	×	×
35	func#var 形式のシンボルをアドレスに変換できない不具合。	×	×
36	IAR 社製コンパイラ / アセンブラで生成した LMF が読めない不具合。	×	
37	実行が止まらなくなる場合がある不具合。	×	×
38	EEPROM 領域が実行中に ** 表示になる不具合。	×	
39	アセンブル・ウィンドウで7文字以上のSFR入力がエラーとなる不具合。	×	
40	ウォッチ・ウィンドウの変数表示が有効にならない場合がある不具合。	-	×

2 . 使用制限事項の詳細

No . 1 イベント・ダイアログで、マスク値を設定できない不具合。

【内 容】イベント・ダイアログで、アドレス設定エリアに範囲指定に対してマスク値を設定できません。その場合エラーあるいはワーニングを出力しません。イベントはマスクを無視した形で設定します。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No . 2 シンボル変換ダイアログで、正しくないエラーを出力する不具合。

【内 容】シンボル変換ダイアログで SFR ビットを指定した場合、エラーとなりますが、間違ったエラーメッセージ " F002(f), 不正な演算式です " を出力してしまいます。

【回避策】SFR ビットのアドレスは、マップファイルでご確認ください。

【改善策】制限事項とします。

No . 3 ソース指定ダイアログで、エラーが表示されない不具合。

【内 容】ソース指定ダイアログで行番号の数値の記述が不正である場合、または省略した場合、エラーを表示せずに先頭行に移動してしまいます。

また、行番号がファイル行番号より大きい場合、エラーが表示されず、行移動しません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No . 4 トレースサーチ機能の不具合。

【内 容】トレースサーチで、範囲指定し、キャレットを終了フレームより後に置き、範囲内の残りを継続前方検索した場合、終了フレームから検索せず、エラーを表示します。同様に、キャレットを先頭フレームより前に置き、範囲内の残りを継続後方検索した場合もエラーを表示します。(f003(W): 既にサーチ範囲を越えています。)

【回避策】サーチ範囲内にキャレットを置いて検索してください。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No . 5 逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレスを表示しない不具合。

【内 容】逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレス「0xFFFF」を表示しません。

【回避策】回避策はありませんが、「0xFFFF」は SFR 領域なので実害はありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 6 オプションメニューの[カバレッジ]が有効になったままの不具合。

【内 容】プログラム実行中にもかかわらず、オプションメニューの[カバレッジ]は有効になっています。選択しても何も設定できません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No . 7 ウォッチ・ウィンドウでポインタのメンバー表示ができない不具合。

【内 容】ウォッチ・ウィンドウで、構造体、配列等のポインタのメンバーを表示した状態でプロジェクト・ファイルにセーブしても、プロジェクトファイルロード時にはメンバーを表示した状態では表示しません。また、そのときの各メンバー個別の表示進数もセーブしていません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

- No . 8 ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合の不具合。
【内 容】ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合、下向き（ファイル末方向）にスクロールを行うと、余分なスクロールが発生し、画面表示される行番号が連続しないことがあります。また、ソースの最後尾を表示している場合、混合表示ではスクロールを使用しないと最後まで表示することができません。
【回避策】ありません。
【改善策】制限事項とします。
- No . 9 800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できない不具合。
【内 容】800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できません。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30で修正しました。
- No . 10 メモリ比較結果ダイアログで、リターン・キーで動作しない不具合。
【内 容】メモリ比較結果ダイアログで、デフォルトボタンは「Close」になっていますが、リターン・キーで動作しません。
【回避策】マウスによりCloseしてください。
【改善策】V2.30で修正しました。
- No . 11 トレース・ダイアログでの、Add Link ボタンの不具合。
【内 容】トレース・ダイアログで、Open時の Add LinkボタンはDisableになっています。イベントリンク・ダイアログをOpenした場合は、Enableとなります。（ただし、トレース・ダイアログではイベントリンクは使用できないので、本来はAdd Linkボタンは、Disableのままが正しい。）
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30で修正しました。
- No . 12 プログラム実行中のエラーメッセージが正しくない不具合。
【内 容】プログラム実行中にタイムダイアログをOpenすると、エラーダイアログ「0302(F):ユーザ・プログラム・トレース中です。」を2回表示してしまいます。このメッセージは正しくないので、「ユーザー・プログラム実行中です。」と読みかえてください。
【回避策】「ユーザー・プログラム実行中です。」と読みかえてください。
【改善策】V2.30で修正しました。
- No . 13 メモリ比較ダイアログで違反領域を指定した場合の不具合。
【内 容】メモリ比較ダイアログで、比較元アドレス範囲または比較先アドレス範囲に違反領域（ガード領域やマッピングできない領域）が含まれる場合、「F201(f),メモリマッピングができませんでした」とエラーを出力し、OKするとメモリ比較ダイアログが消えてしまいます。
【回避策】違反領域を含めないように指定してください。
【改善策】V2.30で修正しました。
- No . 14 プロジェクト・ファイルの読み込みでエラーを出力しない不具合。
【内 容】V1.11以前の版で作成したプロジェクト・ファイルをロードした場合、エラーを出力しなければならないところ、エラーを出力しません。
【回避策】V2.20でプロジェクト・ファイルを作成し直してください。
【改善策】V2.30で修正しました。

- No . 15 I/O プロテクト設定しても、エラー・メッセージを表示しない不具合。
【内 容】ターゲット・メモリでない領域をI/Oプロテクト設定しても、エラー・メッセージを表示しません。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No . 16 ダウンロードダイアログで、オブジェクトもロードしてしまう不具合。
【内 容】ダウンロードダイアログで、HEXファイルを指定しシンボル情報のみのロードを指定された場合、オブジェクトもロードしてしまいます。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No . 17 文字列の表示が途中で切れてしまう不具合。
【内 容】ソース・ウィンドウ、逆アセンブル・ウィンドウ、ウォッチ系ウィンドウで一行に表示できる文字数は200文字までとなっています。(V2.30では、319文字まで表示可能。) そのため 200(320)文字以上の表示は途中で切れてしまいます。
【回避策】ありません。
【改善策】制限事項とします。
- No . 18 ソフトウェア・ブレークが使用できなくなる不具合。
【内 容】プロジェクト・ファイルを読み込むと、ソフトウェア・ブレークが使用できなくなります。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No . 19 ソース・ウィンドウに表示されない不具合。
【内 容】アセンブラ・ソース・ファイルの先頭に、漢字など2バイトコード文字で始まるコメントを書いているソース・ファイルは、ディバッガで表示できません。
(この現象は2バイトコードに起因するものなので、日本語版 Windows 上のみで発生します。)
【回避策】アセンブラ・ソース・ファイルの先頭行のコメントは、2バイトコードから始まらないように、スペース・コードなど1バイトコードを挿入してください。
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No . 20 シンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できない不具合。
【内 容】あるアセンブラ・ソース・ファイルでのみ有効なEQUシンボル定義を行った場合、そのシンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できません。
【回避策】EQU シンボルをヘッダ・ファイルに定義するなど、すべてのアセンブラ・ソース・ファイルから参照できるようにしてください。
【改善策】制限事項とします。
- No . 21 ポインタ変数の値が、変数ウィンドウで正しく表示できない不具合。
【内 容】void型を指すポインタ変数の値が、変数ウィンドウで正しく表示できません。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正しました。

- No. 22 ロードモジュールをもう一度ダウンロードすると、エラーになる不具合。
【内 容】プロジェクト・ファイルを読み込んだ直後に、[ファイル]メニュー下方のファイル・リストから、プロジェクト・ファイルで読み込んだロードモジュールをもう一度ダウンロードすると、エラーになります。
【回避策】プロジェクト・ファイルの読み込みでロードモジュールはダウンロード済みです。もう一度読み直したい時は、[ファイル]-[ダウンロード]メニューを使うか、同じプロジェクト・ファイルを読み直してください。
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No. 23 左右矢印キーでスクロール操作すると、表示が乱れる不具合。
【内 容】SFRウィンドウやレジスタ・ウィンドウなどの「データ値表示 / 設定エリア」の横幅が狭いとき、左右矢印キーでスクロール操作すると、「データ値表示 / 設定エリア」の表示が乱れるときがあります。
【回避策】ウィンドウの横幅を広げて操作してください。
【改善策】制限事項とします。
- No. 24 ソースファイル名に“-” “+”を含む場合、ブレークポイントが設定できない不具合。
【内 容】ソース・ファイルに“-”(マイナス)または“+”(プラス)を含むファイル名が存在する場合、ディバッガ上でブレークポイントを設定することができません。
【回避策】ソースファイル名を、“-” “+”を含まないものに変更してください。
【改善策】制限事項とします。
- No. 25 ディバッガが異常終了する不具合。
【内 容】ディバッガの仕様では、ダウンロードするロードモジュールと同名で、拡張子が“.tcl”であるスクリプト・ファイルが存在した場合、ダウンロード直前にそのスクリプトを自動実行します。スクリプト内で同ロードモジュールをダウンロードする記述を行っていると、ダウンロードを無限に繰り返してしまい、ディバッガが異常終了してしまいます。
【回避策】ダウンロード直前に自動実行しないスクリプト・ファイルは、ロードモジュールのファイル名と同じにならないように変更してください。また、ダウンロード直前に自動実行したいスクリプト・ファイルには、ロードモジュールをダウンロードする命令は記述しないでください。
【改善策】制限事項とします。
- No. 26 カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されない不具合。
【内 容】カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されません。Survey List に 21 文字以上のアイテムを含め、計 12 アイテム以上追加すると、最下位行が水平スクロールバーに隠れて表示されません。(この現象は、英語版 Windows 使用の場合のみ発生します。)
【回避策】リストの最後に 1 アイテム以上のダミーリストを追加してください。
【改善策】制限事項とします。
- No. 27 ソース・ウィンドウにソース内容が表示されない不具合。
【内 容】2 バイト文字で終わる名前のついたフォルダに入っているソース・ファイルが、ソース・ウィンドウに表示されない場合があります。
(ソース内容が表示されていないウィンドウが表示されます)
【回避策】2 バイト文字で終わる名前のついたフォルダを使用しないようにしてください。
【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 28 ソースサーチ・ダイアログのサーチファイル機能の不具合。

【内容】ソースサーチ・ダイアログ内のサーチファイル機能は使えません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 29 関数の引数が配列のとき、Watch, Local ウィンドウで表示が不正になる不具合。

【内容】配列を関数の引数として宣言したとき、その配列の内容を Watchウィンドウ、Local ウィンドウで参照しようとする、異なったメモリ位置の内容を表示してしまいます。

【回避策】関数の引数として配列変数を受け取る(参照する)場合には、引数に配列宣言をせずにポインタ宣言を行って、ポインタアクセスを行うようにしてください。

【改善策】制限事項とします。

No. 30 スナップ・ショット・イベントのあるトレースが全トレースになる不具合。

【内容】スナップ・ショット・イベントを設定し、条件トレースを選択しても、全トレースとなってしまう。全トレースの中にスナップ・ショット・イベントの結果が含まれる形になります。別の条件トレース(区間トレースやクオリファイトレース)が設定されていれば、全トレースにはならず、条件トレースとスナップ・ショット・イベントの結果が得られることとなります。

【回避策】スナップ・ショット・イベントを設定する場合は、ダミーでも良いので何か条件トレースを設定するようにしてください。

【改善策】制限事項とします。

No. 31 ソース・テキスト・ウィンドウ混合表示時に編集ができない不具合。

【内容】ソース・テキスト・ウィンドウを混合表示状態にしたとき、逆アセンブル部の編集を行うことはできません

【回避策】アセンブル・ウィンドウで編集してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 32 ソース・テキスト・ウィンドウで同名ファイルが表示できない不具合。

【内容】ソース・テキスト・ウィンドウで開くソースファイルは、[オプション]-[デバッガオプション]の「ソース・パス」に設定されているフォルダ内のソース・ファイルを優先して開きます。

C:¥TEST¥TEST.C

C:¥TEST¥TEST.LMF のソースファイル

C:¥TEST¥TEST.LMF

D:¥TEST¥TEST.C

D:¥TEST¥TEST.LMF のソースファイル

D:¥TEST¥TEST.LMF

[オプション]-[デバッガオプション]の「ソース・パス」は、C:¥TEST¥を設定

[ファイル]-[ダウンロード]で、D:¥TEST¥TEST.LMF を開いても、表示されるソースファイルは、C:¥TEST¥TEST.C となります。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 33 SFR 領域が疑似 RRM できない不具合。

【内容】SFR 領域は、疑似 RRM(リアルタイム・RAM・サンプリング機能)できません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 34 メモリ検索が中断する不具合。

【内容】メモリ検索で、検索対象アドレスがノンマップ領域や SFR 領域に掛かったとき、メモリ検索が中断されます。

【回避策】検索範囲にノンマップ領域や SFR 領域を含めないようにしてください。

【改善策】制限事項とします。

No. 35 func#var 形式のシンボル(func:関数名、var:変数名)をアドレスに変換できない不具合。

【内容】func#var 形式のシンボル (func:関数名、 var:変数名) をアドレスに変換することができません。

【回避策】 var (変数名)のみで変換してください。関数内 static 変数などで、同名の変数名が他に存在するときは、PC が当該関数内に存在しているときに 変換してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 36 IAR 社製コンパイラ/アセンブラで生成した LMF が読めない不具合。

【内容】 IAR 社製のコンパイラ、アセンブラで生成した、LMF ファイルが読み込めないときがあります。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 37 実行が止まらなくなる場合がある不具合。

【内容】自動継続実行中に[実行]-[スローモーション]を選択すると、[実行]-[ストップ]を選択しても(停止ボタンを押しても)プログラムは停止しない。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 38 EEPROM 領域が実行中に ** 表示になる不具合。

【内容】実行中は、メモリウィンドウの EEPROM 領域が「**」表示になります。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 39 アセンブル・ウィンドウで7文字以上の SFR 入力がエラーとなる不具合。

【内容】アセンブル・ウィンドウで SFR 名が7文字以上の SFR を入力するとエラーとなります。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 40 ウォッチ・ウィンドウの変数表示が有効にならない場合がある不具合。

【内容】ローカル変数を ウォッチ・ウィンドウに登録して、登録した変数の有効部分(スコープ内)を実行しても、変数がグレー表示のまま有効表示(黒表示)にならないことがあります。また、プロジェクト・ファイルを読み込んだ直後に ウォッチ・ウィンドウのサイズを超える数の変数が登録されている場合には、スクロールしても変数がグレー表示のまま有効表示(黒表示)にならないことがあります。

【回避策】変数部分を選択するなど、変数を再描画する操作をおこなうと正常に表示するようになります。変数がグレー表示であっても、変数値に関しては問題なく表示されています。

【改善策】制限事項とします。